

■平成26年度執行目標 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点	項目 (単位)	根拠計画 等	H25実績 (見込)値	H26 目標値
教育部	学校教育課	1	教育委員会制度 法改正に伴う研 究・調査	教育委員会制度法改正に伴う組織、権限等の影響を研究・調査する。	中央教育審議会において、首長を教育行政の決定権限を持つ執行機関とする改革案が答申されており、法改正に向けて審議が行われることから、動向を注視し、制度改正に向けた研究・調査を行う。				
教育部	学校教育課	2	小中学校におけ る消耗品等の経 費節減	市立小中学校の予算軽減を目標とする。(各学校共通利用のコピー用紙等の一括契約の実施に向け、調査・検討を進める。)	市立小中学校で必要な消耗品等を各学校で購入契約していたが、一括契約することにより、学校管理費の経費の執行軽減を図る。				
教育部	学校教育課	3	教育振興基本計 画に基づく事業 の執行管理	平成25年度に策定した教育振興基本計画に基づく施策の進捗を管理する。 ・学校図書システムの全小中学校導入に向けての体制構築検討。・適応指導教室の指導体制の充実。 ・小学校英語教育指導体制の充実。・特別支援教育体制の充実。 ・学力向上の取組の充実(小学校ホップアップ事業の新設)。 ・幼稚園の安全対策設備(防犯カメラ等)の整備。等	背景として、平成25年度に今後10年間の本市教育行政の基本的な方向を示すため教育振興基本計画が策定された。この基本理念に基づき、児童生徒の学力向上や生活習慣の改善、学習環境の整備などの課題を整理し、それら課題に対応した目標を設定し、対応した施策を検討、実施する必要がある。				
教育部	学校教育課	4	学校給食セン ターのあり方の 検討	今後の食数動向に対応できる運営体制を整備するため派遣社員の活用を検討する。 また、新たな給食センターの建設の必要性等を検証するため庁内連絡会議を設置する。	食数が年々増加するなかで、運営体制の見直しや既存施設の整備等が近々に必要な現状となっている。				
教育部	教育施設 整備室	1	恭仁小学校耐震 補強工事の実施	恭仁小学校耐震補強工事の実施 ・木津川市小中学校耐震化改修計画に基づき、平成27年度未完了を目指す。	実績 ・実施設計業務により、工事起工準備を完了した。 課題 ・3工区に分割し工区ごとに順次工事を実施するため、工事が長期になることから、工程管理、安全管理に重点を置いて工事管理を実施し、年度内工事出来高20%を目指す。	年度内工 事出来高 率(%)	木津川市 小中学校 耐震化改 修計画	100	20
教育部	教育施設 整備室	2	棚倉小学校改築 工事の実施	棚倉小学校改築工事の実施 ・木津川市小中学校耐震化改修計画に基づき、平成27年度未完了を目指す。	実績 実施設計業務の遅れがあるが早期に設計を完了する。 課題 早期に発注し、年度内工事出来高30%を目指す。	年度内工 事出来高 率(%)	木津川市 小中学校 耐震化改 修計画	90	30
教育部	教育施設 整備室	3	木津中学校解 体、グラウンド 整備工事の実施	木津川市小中学校耐震化改修計画に基づき、平成26年度未完了を目指す。 ・9月末までに解体工事の完了 ・グラウンド整備工事の年度内完了	実績 ・校舎等解体工事発注済み 課題 ・グラウンド整備工事の早期設計・発注・完了	年度内工 事出来高 率(%)	木津川市 小中学校 耐震化改 修計画	100	100
教育部	社会教育 課	1	生涯学習の充実 (生涯学習情報 誌の発行)	市民の生涯学習の多様化・高度化に対応して、情報提供を図るため、生涯学習情報誌を発行する。(隔年発行)	より住民に理解されやすい、また新たに生涯学習に取り組む意欲がわくような情報誌作りに取り組む必要がある。				
教育部	社会教育 課	2	地域で支える学 校教育推進事業	次の取組により、地域ぐるみで子どもを育てる体制基盤を確立し、学校の教育活動を支援する。 ・市内5中学校区で学校からの要請に基づいた支援の実施	・平成25年度中にすべての中学校区で学校支援地域本部設立。 ・市内5中学校区で学校からの要請に基づいた支援については、泉川中学校区を除き(本部の設立、事業説明に時間を要した)支援事業を実施した。平成26年度は市内5中学校区で学校からの要請に基づき支援を実施していく必要がある。				
教育部	文化財保 護室	1	文化財保存・活 用計画の策定と 進行	文化財行政は、持続的な取り組みであり、景観、観光、教育、そしてまちづくりなどに関わる内容を有しており、テーマごとに周辺環境も含めて総合的に捉えていく必要があることから、文化財保護審議会を開催し、2か年(平成27年度まで)で文化財保存・活用計画を策定する。 また、市内文化財の保護・整備・調査を進める。	主な事業 (新規)史跡椿井大塚山古墳発掘調査事業(石垣のゆるみ対策) (継続)鹿背山瓦窯跡環境整備:盛土造成工事委託契約締結 高麗寺跡史跡整備事業:盛土・暗渠排水工事の実施、講堂跡・回廊跡の実設計完了 恭仁宮跡公有化事業:6筆公有化(H25:3,704.63m)、建物1棟移転補償 市指定文化財事業:3物件指定(木造阿弥陀如来坐像・紙本墨書岩船寺縁起・木津浜絵馬)				

■平成26年度執行目標 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点	項目 (単位)	根拠計画 等	H25実績 (見込)値	H26 目標値
教育部	文化財保護室	2	文化財保護啓発事業の推進	各種団体等との連携による歴史学習の推進 〈新規〉学研立地企業への出前研修（木津川市古代・中世の歴史、大仏鉄道）	〈継続〉木津川市ふれあい文化講座：年4回実施（H25参加者数：380人） 出前授業：小学校等への歴史学習（棚倉小学校・光明山寺跡） 〈課題〉一部の小・中学校との連携による歴史学習に留まっている。積極的な連携が必要。				
教育部	文化財保護室	3	市内文化財の保全・修理事業の推進	神童寺・・・収蔵庫及び仏像修理（重文阿弥陀如来坐像等）、境内敷地区画の白壁保全修理 岡田鴨神社・・・本殿（檜皮屋根）、社殿の保存修理 相楽神社・・・環境保全地区環境整備	〈継続〉 国指定文化財維持管理事業：防災設備保守点検（H25市補助金：835千円/14社寺） 府指定・登録文化財維持管理事業：（H25市補助金：427千円/6社寺） 〈課題〉文化財が多数所在する木津川市の独自性を出すために必要な事業であるが、毎年、1千万円～1千3百万円ぐらいの補助金の支出があり、文化財の修理等に係る補助金が高額となっている。				